

今回は「カタールで活躍する日本企業」を特集します。

世界中で活躍する日本人

世界には約 190 の国がありますが、その世界各国で生活している日本人がいます。その数は永住者と長期滞在者（3 ヶ月以上）を合わせると 110 万人を超えていると言われています。国別の上位 3 カ国は①アメリカ合衆国(約 39 万人)、②中華人民共和国(約 13 万人)、③オーストラリア(約 7 万人)、となります。これらの数字を見ると、現在はかなり多くの日本人が海外で生活していることが分かります。

(平成 20 年外務省統計より)

中東に住む日本人

日本へたくさんの地下資源を輸出している中東にもたくさんの日本人が生活をしています。もっとも日本人が多く駐在する国は UAE で、商業都市であるドバイを中心にたくさんの在留邦人がいます。そしてカタール、サウジアラビアと続きます。カタールには現在、1000 人以上の日本人が住んでいます。世界でも 39 番目に在留邦人の数が多い国だそうです。数字を見る限りでは意外に多いことに驚きます。住んでいるのは一般企業に勤める人がほとんどを占め、その他には政府関係機関に勤める人などです。これらの人々とその帯同家族を合わせると 1000 人以上になります。

カタールの人口はおよそ 160 万人です。そのうち、カタール人は約 20%～30%しかいないと言われています。その他はすべて外国人です。中東諸国をはじめ、アジア諸国、欧米諸国など世界中から人が集まっています。その中の 1000 人と考えると、決して多くはないのかもしれませんが。

カタールに進出している日本企業

カタールに駐在している企業の種類を調べたところ、以下の表のようになりました。

業 種	企業数
・ 商社系	6
・ 建設系	6
・ エネルギー系	10
・ 海運系	2
・ 銀行	2
・ 運輸	2
・ コンサルタント系	1
・ 教育系	1
・ その他	6
合 計	36 社

(2010 年 4 月現在 出典：カタール日本人会名簿)

この中で、最も多いのが「エネルギー系」の企業でした。地下資源の輸出大国であるカタールならではの。愛知県に本社があり、知多市にも発電所がある中部電力もこの中に入っています。中部電力とカタールのつながりはとても深く、現在のカタールの発展の基礎を作った会社でもあります。このことについては別の特集でお伝えします。

業種が多岐にわたり、カタールにおける日本企業の役割はとても大きいように感じます。現在、カタールは毎年 15%以上の経済成長を続けています。まるで日本の高度経済成長期のような。年々石油や天然ガスの生産を増やし、天然ガスについては世界一、二の生産量を誇るまでになっています。国は小さいですが、カタールの国の発展性はとても大きいように感じます。中東の小国に日本をはじめ世界が注目しています！

